

共立女子大学建築・デザイン学部 カリキュラム・ツリー

ディプロマ・ポリシー

DP1/客観性・自律性		DP2/課題発見・解決力		DP3/リーダーシップ
DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3
【幅広い教養】 人が生きていくために必要な場を構成している「空間」や「モノ」を創造する建築・デザイン領域を、社会との関わりの中で多角的に捉えるための幅広い教養を身に付けている。	【建築・デザイン領域の知識・技能】 建築・デザイン領域における基礎的な知識・技能を修得した上で一つの領域（建築またはデザイン）に関して知識・技能を身に付けている。	【創造力】 「空間」や「モノ」に係るテーマに対して、身に付けた知識・技能を活かして客観的な課題分析を行い、既存の枠にとらわれず創造的に思考し、発想を形にする力を身に付けている。	【表現力・伝達力】 変化する「空間」や「モノ」などの状況に対して、常に意欲的に取り組み、社会との関わりの中でそのあり方について考え、自身の考えを他者がわかるように平易に表現することができる。	【関心・意欲・態度】 「空間」や「モノ」を創造する上で必要不可欠な他者との協働において、身に付けた知識・技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援するリーダーシップを発揮することができる。

CP2-3
建築・デザインが作り出す「空間」や「モノ」は、デザインする人、それを実際に作る人、そして使う人など多様な人々との協働はとて重要である。3年次に各研究室に所属し各研究室のテーマに沿って学生たちがグループを組み協働で研究・制作を行う「ゼミナール」を必修として配置する。さらに、卒業年次のアセスメント科目として、専門教育科目を中心とする教育内容を統合・深化させ、専門性を活用する力を身に付けるため、4年間の集大成として研究成果・制作作品をまとめ、成果発表までを行う「卒業論文・制作Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。

卒業論文・制作Ⅱ				
卒業論文・制作Ⅰ				
ゼミナール				

CP2-2
建築・デザインの専門分野をより深く理解し学ぶために、「建築領域」に「建築分野」「インテリア分野」「まちづくり分野」を、「デザイン領域」に「グラフィック分野」「プロダクト分野」を設け、主として学びを深めていくための授業科目を配置する。各分野の知識・技能の基礎を固めるとともに、分野における深い知識や応用力を身に付けるための授業科目を体系的に配置する。

建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築・インテリア演習Ⅰ・Ⅱ 建築構法 建築施工 建築力学Ⅰ・Ⅱ 建築材料学(実験含む) 建築法規 建築CAD演習Ⅰ・Ⅱ 環境工学 構造設計 構造計画 建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築設備 建築設計演習Ⅰ～Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ～Ⅳ まちづくり演習Ⅰ～Ⅳ 平面構成演習Ⅰ・Ⅱ 立体構成演習Ⅰ・Ⅱ デザイン図学 モデリング演習 デザインCAD イラストレーションテクニック レンダリング演習 メタルクラフト演習 木工演習Ⅰ・Ⅱ デジタル写真演習Ⅰ グラフィック・CG演習Ⅰ～Ⅴ グラフィック演習Ⅰ～Ⅳ 版画演習 プロダクト演習Ⅰ～Ⅳ	建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築・インテリア演習Ⅰ・Ⅱ 建築構法 建築施工 建築力学Ⅰ・Ⅱ 建築材料学(実験含む) 建築法規 建築CAD演習Ⅰ・Ⅱ 環境工学 構造設計 構造計画 建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築設備 建築設計演習Ⅰ～Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ～Ⅳ まちづくり演習Ⅰ～Ⅳ 平面構成演習Ⅰ・Ⅱ 立体構成演習Ⅰ・Ⅱ デザイン図学 モデリング演習 デザインCAD イラストレーションテクニック レンダリング演習 メタルクラフト演習 木工演習Ⅰ デジタル写真演習Ⅰ グラフィック・CG演習Ⅰ～Ⅴ グラフィック演習Ⅰ～Ⅳ 版画演習 プロダクト演習Ⅰ～Ⅳ	建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築・インテリア演習Ⅰ・Ⅱ 建築構法 建築施工 建築力学Ⅰ・Ⅱ 建築材料学(実験含む) 建築法規 建築CAD演習Ⅰ・Ⅱ 環境工学 構造設計 構造計画 建築図学Ⅰ・Ⅱ 建築設備 建築設計演習Ⅰ～Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ～Ⅳ まちづくり演習Ⅰ～Ⅳ 平面構成演習Ⅰ・Ⅱ 立体構成演習Ⅰ・Ⅱ デザイン図学 モデリング演習 デザインCAD イラストレーションテクニック レンダリング演習 メタルクラフト演習 木工演習Ⅰ デジタル写真演習Ⅰ グラフィック・CG演習Ⅰ～Ⅴ グラフィック演習Ⅰ～Ⅳ 版画演習 プロダクト演習Ⅰ～Ⅳ	建築・インテリア演習Ⅰ・Ⅱ 建築総合演習 建築設計演習Ⅰ～Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ～Ⅳ まちづくり演習Ⅰ～Ⅳ 商品企画情報論 木工演習Ⅱ デジタル写真演習Ⅰ・Ⅱ グラフィック演習Ⅰ～Ⅳ プロダクト演習Ⅰ～Ⅳ	建築・インテリア演習Ⅰ・Ⅱ 建築総合演習 建築設計演習Ⅰ～Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ～Ⅳ まちづくり演習Ⅰ～Ⅳ 商品企画情報論 グラフィック演習Ⅰ～Ⅳ プロダクト演習Ⅰ～Ⅳ
--	--	--	--	--

CP2-1
建築・デザインの基礎・基本について事例などに基づき学ぶ「建築・デザイン概論Ⅰ・Ⅱ」と、美術分野共通の基礎となるデザイン力を養う「デザインドローイング」を1年次の必修に、自身の考えを他者に対して理解させる方法を学ぶ「プレゼンテーションテクニック」を2年次の必修に配置する。さらに、建築コースとデザインコースの学生混合のチームで、専門的な知識・技能を、実際の想定した場面で活用できるように、課題解決型授業(Project Based Learning、以下PBL)形式で、建築とデザインを総合的に学ぶ「建築・デザイン総合演習」を3年次の必修に配置する。

建築・デザイン概論Ⅰ・Ⅱ 色彩学 日本・西洋美術史概論A・B 西洋美術史概論A・B 住居史 建築史 住生活論	建築・デザイン概論Ⅰ・Ⅱ デザインドローイング 近代デザイン史 色彩学 人間工学 日本・西洋美術史概論A・B 西洋美術史概論A・B インテリアデザイン論 住居史 建築史 ビジュアルコミュニケーション論 プレゼンテーションテクニック 住生活論 環境心理学 まちづくり政策論 家具・照明論 デザインマネジメント論	デザインドローイング プレゼンテーションテクニック 建築・デザイン総合演習	プレゼンテーションテクニック 建築・デザイン総合演習	人間工学 プレゼンテーションテクニック 建築・デザイン総合演習
--	--	---	-------------------------------	---------------------------------------

CP1
学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として自律できる人材、すなわち日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために設けられた「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップ」の必修・選択必修を以下のように定める。

協働とリーダーシップコア	・他者と協働しながら課題解決に導くための協働性・コミュニケーション力やリーダーシップを養うために2単位を選択必修とする。
創造とキャリアコア	・新たな価値を創造し社会と積極的に関わっていくための基礎的な力を身に付けるとともに、社会人として必要な教養を養うため、以下の必修・選択必修を定める。 ・情報リテラシーにおいては、情報化が加速する現代の社会生活で必要となる数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識や技術を身に付けるために、「データサイエンスとICTの基礎」を必修とする。 ・英語においては、プレジレントテストの結果を踏まえた習熟度に基づくクラスを編成し、学生の習熟度や希望に応じて体系的に科目群を編成する。現代の社会生活で必要となる英語コミュニケーション力を身に付けるために「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を必修とする。また、今後、進展するグローバル環境におけるキャリア形成に必要な語学能力を養成するためにTOEICのスコアアップを目指す。 ・社会を幅広く俯瞰し必要な教養を身に付けるために「情報リテラシー」「英語」「初習外国語」以外の科目より6単位を選択必修とする。
自律と努力コア	・初年次教育科目・キャリア教育科目として、客観的に物事を理解し、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養うため、以下の必修を定める。 ・学生生活への適応、ライフプランやキャリアプラン形成のための「ライフプランと自己実現」そして論理的な考え方や文章作成技術の定着、課題発見、課題分析、情報収集、グループワーク、プレゼンテーションなどの課題解決に必要な技術の定着をはかるとともに、社会人として果たすべき責務を学ぶために、少人数で行う「基礎ゼミナール」「課題解決ワークショップ」を必修とする。

カリキュラム・ポリシー

DP1-1との関連性がとても高い科目	DP1-2との関連性がとても高い科目	DP2-1との関連性がとても高い科目	DP2-2との関連性がとても高い科目	DP3との関連性がとても高い科目
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	------------------

アドミッション・ポリシー

AP1-1 【知識・技能】 高等学校の教育課程を幅広く修得している。	AP1-2 【知識・技能】 建築・デザインについて学ぶために必要な高等学校卒業相当の「国語」「英語」「理科」「数学」「地理歴史」の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。	AP2 【思考力・判断力・表現力】 「空間」や「モノ」に対する観察力・描写力と、基礎造形力・基礎表現力を有しているとともに、「空間」や「モノ」に関連した情報を意欲的に収集し、それらに関連した何かを創り出すことに喜びを感じ、考察・表現することに関心を有している。	AP3-1 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】 将来的に建築やデザインに興味を持ち、プロジェクトに対してグループのなかでデイスカッションとエスキースを繰り返しながら、創作意欲を刺激し合い、目標を達成する意欲・態度を有している。	AP3-2 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】 学内・学外の行事に積極的に参加し、プロジェクトを進んで計画遂行し、リーダーシップを発揮しグループの中で活動しようとする意欲・態度を有している。
---	---	---	--	--

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。